

防災訓練実施結果報告書

平成25年 6月17日

原子力規制委員会 殿

報告者

住所 神奈川県

氏名 株式会社

目3番1号

ュークリア・

ル・ジ

代表取締役社長 梅原 肇

(法人にあってはその名称及び代表者)

(担当者

所属 環境安全部安全管理課

)

防災訓練の実施結果について、原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定に基づき報告します。

原子力事業所の場所 及び名称	名称：株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン（事業区分：加工） 場所：神奈川県横須賀市内川二丁目3番1号
防災訓練実施年月日	平成24年 10月 19日
防災訓練のために想定した 原子力災害の概要	平日の出勤時（通常時間帯）の大地震発生に伴う災害を想定
防災訓練の項目	総合防災訓練
防災訓練の内容	1. 大地震発生に伴う屋外避難、津波警報発令、同警報解除 2. 大地震発生に伴う商用電源（自動）遮断、非常用電源供給、商用電源復帰 3. 管理区域内火災発生 4. 汚染傷病者の発生 5. 非常扉からの放射性物質の屋外飛散 1) 原子力災害対策特別措置法第10条蓋然性事象及び同法第10条事象に伴う原子力防災本部の設置及び関係機関への通報、消防署への情報伝達。 2) 非常扉のウラン飛散箇所の応急措置、環境ウランモニタリング、一時的管理区域の設定、飛散ウランの回収・汚染検査 3) 災害発生時の広報班による広報活動及び地元への情報連絡
防災訓練の結果の概要	総合防災訓練参加者数は、387人であった。 1. 消防法に基づく防災組織の行動及び通報、消火活動、避難誘導、救護活動等の各種訓練に問題は確認されなかった。 2. 活動要員・防災要員による市消防局への衛星電話回線を使用した火災通報、救急要請通報及び市消防署との消火・救急活動は、問題なく実施できた。 3. 社内外関係者及び関係機関への通報は、連絡責任者によりの確に実施された。 4. 管理区域内火災対応、汚染傷病者対応、屋外（管理区域外）へのウラン粉末飛散対応では、市消防署及び横須賀原子力規制事務所との連携は概ね良好であった。
今後の原子力災害対策に向けた改善点	緊急措置対応時、避難時、情報収集のための、懐中電灯及びトランジスタラジオの配備の必要性を検討する。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず